

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 フィルムコミッション推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 活用推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3248)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 200千円 (前年度予算額：287千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	287	0	0	0	0	0	0	0	287
要求額	200	0	0	0	0	0	0	0	200
決定額	200	0	0	0	0	0	0	0	200

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・映画やテレビ番組等の魅力的な撮影地として情報を発信し、本県が映画やテレビ番組等に映ることで、地域の知名度やイメージの向上につながるとともに、観光地以外の場所がロケ地になることで、身近な風景の持つ美しさなど新たな地域の魅力の発掘や再発見につながり、地域活性化のきっかけとなっている。今後も、映画やテレビ番組等を通じた岐阜の情報発信を継続的に支援できるよう、制作会社等への働きかけを強めていく。

◇近年の撮影実績 (単位：件)

区分	映 画		テレビ		C M		その他		合 計	
	照会	撮影	照会	撮影	照会	撮影	照会	撮影	照会	撮影
H29	4	0	13	7	6	1	6	1	29	9
H30	8	2	10	3	4	1	4	0	26	6
H31	3	0	12	4	3	0	1	0	19	4

(2) 事業内容

- ・映画、テレビ番組等の誘致や制作支援を実施。
- ・「特定非営利法人ジャパン・フィルムコミッション（JFC）」に加入し、他のフィルムコミッション組織とも連携しながら、制作会社等に対するプロモーション活動を実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・「清流の国ぎふ」の魅力を発信することから、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	100	ロケハン・ロケ立会旅費、プロモーション活動等旅費
負担金	100	特定非営利法人ジャパン・フィルムコミッション会費
合計	200	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

3 「清流の国ぎふ」づくり

(1) わがまち「清流の国」づくり

(2) 国・他県の状況

27都府県が特定非営利法人ジャパン・フィルムコミッションに加盟。

(3) 後年度の財政負担

毎年度同程度の財政負担が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

映像媒体を通じて「岐阜」の魅力や情報を発信することにより、「岐阜」の知名度向上やイメージアップとともに、県民の地域に対する誇りの醸成につながる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移			現在値	目 標	達成率
					(前々年度末時点)		
舞台・ロケ地となった作品数 (映画・ドラマ等)	4 (H28)	10 (H29)	8 (H30)	4 (H31)	26 (H31)	34 (R3)	76.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・映像制作会社からのロケ候補地の紹介依頼に対し、各地域のロケーション候補地を回答。また、実際のロケーションハンティング（ロケハン）に同行し、ロケ候補地との調整を実施。

（前年度の成果）

・岐阜フィルムコミッションがロケ地の紹介段階から制作者を支援し、紹介したロケ地で実際に撮影が行われた。制作のあらゆる段階で制作者サイドを支援することにより、岐阜の魅力発信につながる作品の誘致に成功した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	映画などの映像作品に取り上げられることで、地域の知名度向上やイメージアップ、さらには県民の地域に対する誇りの醸成につながり、その効果は非常に大きい。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	平成16年度の発足以来、継続した取組みによりホームページ等でのPR以外に制作会社等の口コミによる情報も広がってきており、近年は、ほぼ全編県内撮影の作品や、全国的な話題作誘致に成功し、事業成果が現れてきている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	各圏域にフィルムコミッション団体が設立されており、映像制作支援の体制が全県的に構築されつつある。

(今後の課題)

地域PRに繋がる作品ほど広域的な支援体制が不可欠であり、県内各圏域を単位とした支援体制づくりが必要である。

(次年度の方向性)

本県には撮影に適した地域等が多く存在するが、撮影隊は近隣（首都圏）や大規模撮影が可能な場所等に流れてしまう傾向がある。そのため、既存の地域を活かしながら、撮影地として選んでもらうための支援を行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	